

# リレーショナルデータベース専用マシン(RINDA)

Relational Database dedicated machine (RINDA)

1980年代後半になると、インデックス利用が困難な情報やマルチメディア情報などを大量かつ高速に処理するデータベース管理システムが求められるようになった。RINDAは、これに応えるべく開発されたデータベース処理専用装置で、データベース検索を高速に実行するために内部検索処理機構と関係演算処理機構を組み合わせることによって、従来の約10から100倍の処理速度を実現した。

## RINDAの主な特長

- データベース処理を専用装置に移し、CPU本体の負荷軽減によりシステム全体を経済化。
- DIPS本体とディスク間でデータ転送と検索処理を同時に実行して、データベースの処理時間を大幅に短縮。
- インデックス利用の効果が低い情報の検索処理、ソート処理、文字列検索処理、統合演算処理の高速化。
- データベース処理の負荷に応じた柔軟な装置増設。

